

5月

みんなくウィークエンド・サロン

研究者と話そう

■時間 14時30分から15時30分

■展示観覧料が必要です。

※都合により、予定を変更することがあります。

国立民族学博物館（みんなく）の研究者が来館された皆様の前に登場します！
「研究について」「調査している地域（国）の最新情報」「展示資料について」
などなど、話題や内容は千差万別！

どんどん質問もおよせください。展示場でお待ちしております。

※特別展開催中のウィークエンド・サロンでは13回にわたりみんなくの名誉教授が初代館長・梅棹忠夫についてお話しします。

1日

(日曜日)

話者：小山修三（国立民族学博物館 名誉教授）

話題：【特別展「ウメサオ タダオ展」関連】

梅棹さんに聞いたこと

場所：特別展示館

8日

(日曜日)

話者：大塚和義（国立民族学博物館 名誉教授）

話題：【特別展「ウメサオ タダオ展」関連】

梅棹忠夫と大興安嶺探検、そして私

場所：特別展示館

15日

(日曜日)

話者：伊藤幹治（国立民族学博物館 名誉教授）

話題：【特別展「ウメサオ タダオ展」関連】

梅棹忠夫と自前の学問

場所：特別展示館

22日

(日曜日)

話者：片倉もとこ（国立民族学博物館 名誉教授）

話題：【特別展「ウメサオ タダオ展」関連】

梅棹忠夫とイスラーム世界

場所：特別展示館

29日

(日曜日)

話者：栗田靖之（国立民族学博物館 名誉教授）

話題：【特別展「ウメサオ タダオ展」関連】

梅棹忠夫先生が登った白頭山

場所：特別展示館

1年間みんなくは何度でも入館できる 「みんなくフリーパス(3,000円)」をご利用ください。

本館展示は何度でも無料で入館できます。他にも、みんなくを楽しむための特典がいっぱいあります。

- 特典◆本館展示の無料入館◆特別展示の観覧料割引
- ◆みんなくミュージアム・ショップとレストランの10%割引
- ◆万博記念公園内および周辺施設での利用割引 など。

詳細については、財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893 / 平日9:00 ~ 17:00)

編集後記

東日本大震災をどう乗り越え将来につなげるか。コミュニティの再生を進めるうえで新しい公共の考え方を取り入れるとともに、オルタナティブ（代替）の考え方をもう一度見つめ直すのも、将来を考える一助ではないかと思う。

オルタナティブということばが知られるようになったのは、1973年の第一次石油ショック後のこと、右肩上がり神話を見直し、多様性を模索する動きの一環だった。巨大技術のもろさが露呈した今こそ、別の技術やシステムの可能性を探ること、たとえば、自然エネルギーの活用にも本腰を入れ、食料だけでなくエネルギーについても地産地消を目指してはどうか。グローバル化がじつは代替手段のない相互依存性を強めたことに気づいた今、可能な限り地域での自足を心がけるのもひとつの考え方だろう。その範を江戸時代に求める議論が盛んだった時期がある。梅棹さんも、鎖国をマイナスとだけ捉えず、自給自足モデルとして再評価すべきではと考えていた。

多少の不便をオルタナティブな技術や考え方で補完し、安心・安全な生活スタイルへ転換すること、それは被災され亡くなられた方々の無念を、わたしたちが前向きに生かす道のひとつかも知れない。(久保正敏)

●表紙 土人形（太ったチャラン）H0210463 ファナ・ソサ作
制作地：チュルカナス、ペルー 制作年：1990年

次号の予告

特集

骨——どこから来たの？どこへ行くの？(仮)

月刊みんなく 2011年5月号

第35巻第5号通巻第404号 2011年5月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 八杉桂穂
編集委員 久保正敏（編集長） 朝倉敏夫 櫻永真佐夫
庄司博史 中牧弘允 山中由里子
編集アドバイザー 山内直樹
デザイン 宮谷一敏
制作・協力 財団法人 千里文化財団
印刷 日本写真印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係に
お願いします。
*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分（茨木方面からは、もっとも近い「自然文化園・日本庭園中央」バス停で下車できるバスが1時間に1本程度あります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください。）
- 自家用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんなくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

